

総合特別区域の進捗に係る評価  
[国際戦略総合特区]

令和2年度

つくば国際戦略総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.3+3.3)/2=3.3$

3.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	ライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進による産業化促進	146% (※)	4 (※)
2	次世代がん治療(BNCT)の開発実用化	0%	1
3	藻類バイオマスエネルギーの実用化	635%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 3 = 3.3$

3.3

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

(※)上記1番目の評価指標の進捗度及び評点については、当該指標が定める複数の数値目標の進捗度及び評点をそれぞれ寄与度を踏まえ平均した値を記載しているため、進捗度80%以上100%未満を4とする評点の取扱いと一致しない記載となっている。

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.3+2.7+3.3)/3=3.1$

3.1

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.3

・引き続き順調に進むことが期待される。ただし、規制緩和などは実行可能なものはあらかじめ実施完了しているだろうから、新たな申請件数を評価するより、実施しているものの現行評価を行う方がよいのではないかと考えられる。

・ライフインベーシヨンの産業化促進、事業化促進件数が進捗していることは高く評価できるが、BNCTの進捗が限定的であること、財政支援、金融支援の取り組み件数がないことについて説明をいただきたい。

・ライフインベーシヨンの連携企業数は順調に伸びていると思われるが、連携達成件数のみならず、短期的な効果を望むのは難しいことは十分理解しているもののその成果についても知りたい。

・コロナ禍の影響によってBNCTの開発実用化に遅延が生じたのは非常に残念である。照射装置自体も減価償却の運命にあると思われ、早急な稼働、および、臨床評価を期待する。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.3

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.3+3.1+4.3 \times 2) / 4 = 3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。